

ColorMultiWriter 9560C / ColorMultiWriter 9160C 簡単操作ガイド

知りたい情報を探す

はじめに、 簡単操作ガイド	本機の設置手順と基本的な使い方、本機を安全にお使いいただくため のご注意、トラブルの対処方法、および本体同梱メディア「ソフト ウェア / 製品マニュアル」ディスクの使いかたについて説明している マニュアルです。	<ul style="list-style-type: none"> ● 本書 ● 公式サイト
詳しくは、 ユーザーズガイド	本機の設置が終わってからプリントするまでの準備、プリント機能の 設定方法、操作パネルのメニュー項目、トラブルの対処方法、オプ ション製品の取り付け方法、および日常の管理について説明している マニュアルです。	<ul style="list-style-type: none"> ● 「ソフトウェア/製品マ ニュアル」 ディスク ● 公式サイト
最新情報は、 サポート情報	よくあるお問い合わせ、購入相談やテクニカルサポート、保守やサ ポートについて確認できます。	<ul style="list-style-type: none"> ● 公式サイト

「ソフトウェア/製品マニュアル」 ディスクをお使いになる前に

ソフトウェアの使用許諾について

このメディアを皆様にご提供するに当たり、下記の「ご使用条件」にご同意いただくことを、提供の条件とさせていただきますので、パッケージを開封される前に下記の「ご使用条件」を必ずお読み下さい。なお、皆様がパッケージを開封された場合には、本「ご使用条件」にご同意いただいたものとしますので、万一ご同意いただけない場合には、ご使用されませんようご注意ください。

ご使用条件

- ・ 弊社は、このメディアで提供する情報について、内容や正確性・安全性などについては商品性および特定の使用目的への適合性についての保証を含め、黙示的にも明示的にもいかなる保証もいたしません。
- ・ このメディアで提供する情報の著作権は弊社に帰属します。
- ・ メディアの内容を金銭の授受の如何を問わず第三者のためにまたは第三者に対し、複製、加工、販売、出版、閲覧、公開することはできません。

免責事項について

弊社は、使用者がこのソフトウェアを使用することによって発生した、直接的、間接的もしくは波及効果による損害、データ・プログラムその他無体財産に対する損害、使用利益および得べかりし利益の損失等に対して一切の責任も負わないものとします。

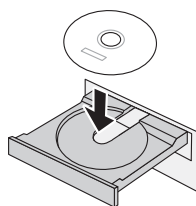
「ソフトウェア/製品マニュアル」 ディスクでマニュアルを見る



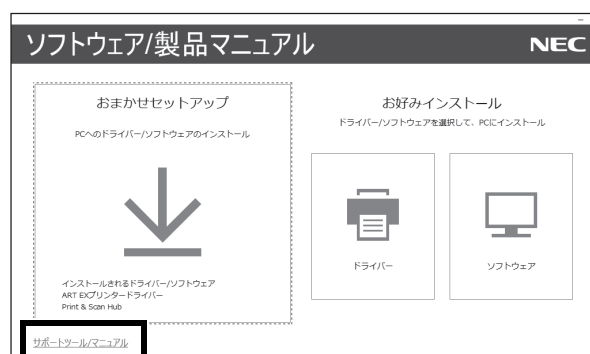
- 最新版のマニュアルは、公式サイトで確認できます。詳しくは、「Web から最新情報を得る (P.2)」を参照してください。

Windows®

1. 「ソフトウェア/製品マニュアル」ディスクをコンピューターにセットします。



2. [サポートツール/マニュアル] をクリックします。



3. [製品マニュアル] をクリックします。



4. [ユーザズガイド] をクリックします。



- 💡 「ソフトウェア / 製品マニュアル」 ディスクの活用
- 本機の利用者がアクセスできる共有サーバーなどに、ディスクの内容をコピーして活用してください。

Mac

「ソフトウェア / 製品マニュアル」 ディスクの以下の場所に格納されている index (index.html) をダブルクリックします。

[Manuals] > [Devicemanual] > [Japanese]

Web から最新情報を得る

公式サイトにアクセスします。

<https://jpn.nec.com/prINTER/laser/index.html>

サポート情報を確認する

1. 表示されたページで、[サポート] をクリックして、最新情報を確認します。

マニュアルを確認する

1. メニューから[ダウンロード]をクリックします。
2. 表示されたページで、[マニュアル] をクリックします。
3. お使いの機種および必要なマニュアルを選びます。

ソフトウェアをダウンロードする

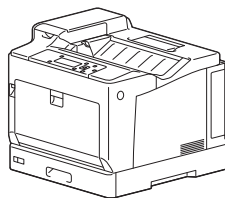
1. メニューの[ダウンロード]をクリックします。
2. 表示されたページで、[プリンタドライバ] をクリックします。
3. お使いの機種を選んで、[決定] をクリックします。
4. ダウンロードするソフトウェアをクリックします。
5. 内容を確認し、ページ下部からソフトウェアをダウンロードします。

本機のセットアップ

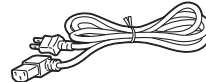
- 💡 ● 本機をセットアップする前に、「安全にご利用いただくために (P.14)」をお読みください。

1. 同梱物を確認します。

●プリンター本体



●電源コード



●アクセサリキット

- ・「ソフトウェア / 製品マニュアル」 ディスク



- ・簡単操作ガイド (本書)

- ・階調補正用色見本

●トナーカートリッジ (4色)

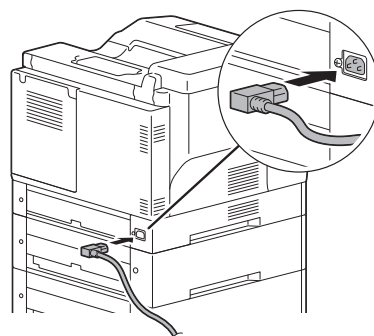


●保証書

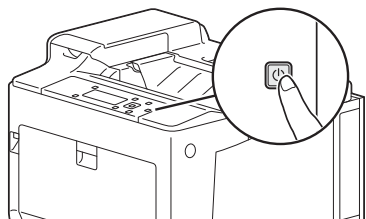
2. オプション製品を取り付けます。

- 💡 ● 各種オプションの取り付け手順については、『ユーザズガイド』の「オプション製品の取り付け」を参照してください。

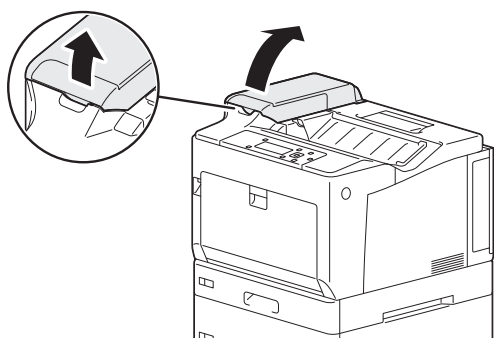
3. 電源コードを接続します。



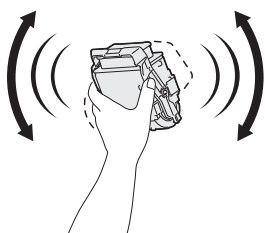
- 4.** 本機の電源を入れます。
ディスプレイに、トナーカートリッジのセットを促すメッセージが表示されます。



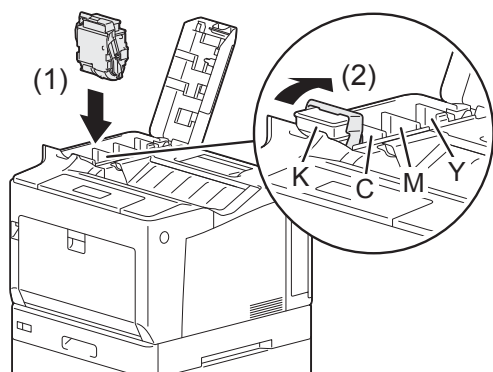
- 5.** トナーカバーを開けます。



- 6.** トナーカートリッジを軽く5回、上下左右によく振り、トナーを均一にします。

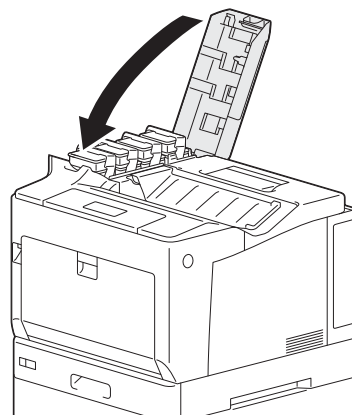


- 7.** 本機のトナーカートリッジ取り付け位置を確認し、指定されている色の位置に、同色のトナーカートリッジを差し込み (1)、レバーを奥にしっかりと倒してロックします (2)。



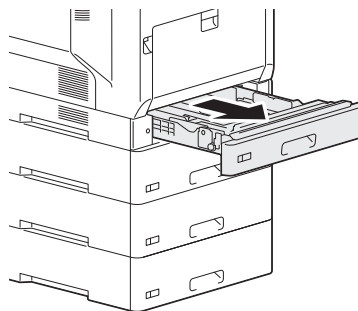
残りのトナーカートリッジも同様に取り付けます。

- 8.** トナーカバーを閉じます。



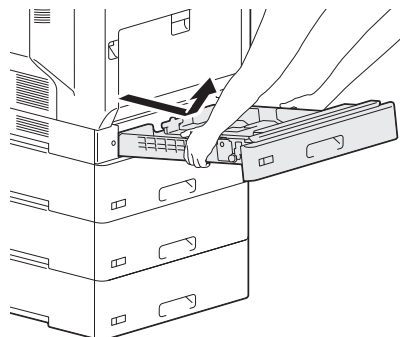
- 9.** 用紙をセットします。

- ① トレイを止まるまで手前に引き出します。



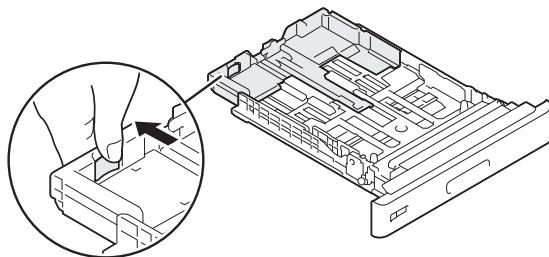
- ② トレイの両側を両手で支え、手前を少し持ち上げて本体から取り外します。

- 💡 ●用紙トレイは完全に引き出してください。

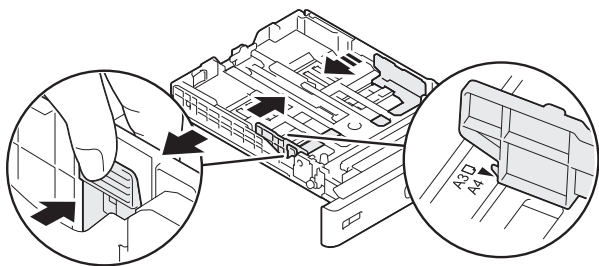


トレイの長さを変更する必要がある場合は手順③に進みます。トレイの長さを変更する必要がない場合は手順④に進みます。

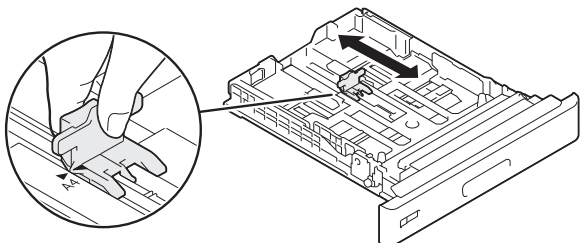
- ③ トレイの長さを変更する場合は、トレイ奥のクリップを指でつまみ、「カチッ」となるまでトレイを伸ばし（または縮め）ます。



- ④ 左の用紙ガイドクリップを指でつまみ、用紙サイズに合った位置まで動かします。



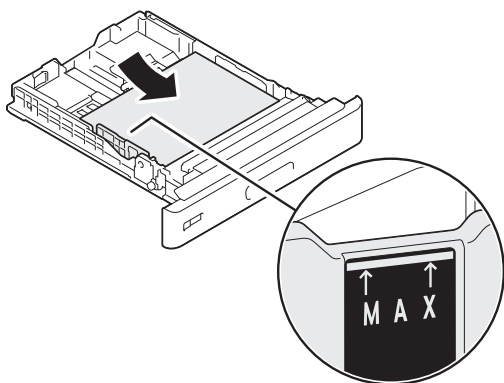
- ⑤ たての用紙ガイドクリップを指でつまみ、用紙サイズに合った位置まで動かします。



- 💡 ●用紙サイズの▶マークの先端と、用紙ガイドの▼マークの先端を合わせてください。

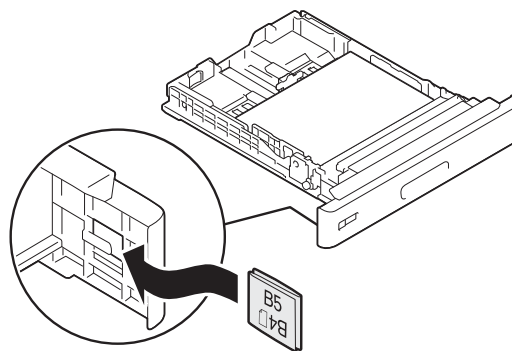
- ⑥ 用紙をセットする前に、用紙をよくさばき、平らな面で用紙の四辺を整えます。

- ⑦ プリントする面を上にして、用紙の先端を手前側にそろえてセットします。

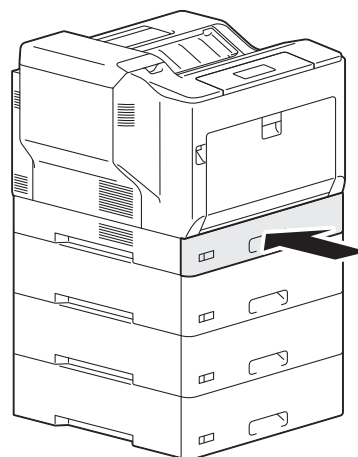


- 💡 ●種類が異なる用紙を同時にセットしないでください。
●用紙上限線（「MAX」の位置）を超える量の用紙をセットしないでください。紙詰まりの原因になります。
●トレイの空きスペースには、用紙や物を置かないでください。紙詰まりや故障の原因になります。

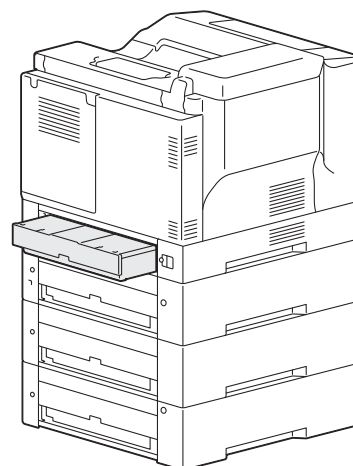
- ⑧ セットした用紙に合わせて、用紙サイズラベルを差し替えます。



- ⑨ トレイをゆっくりと、奥に突き当たるまで押し込みます。



- 💡 ●トレイを押し込むときは、ゆっくりと押し込んでください。トレイを勢よく押し込むと、故障の原因になります。
●トレイを伸ばした場合は、延長部分が本機の背面から突き出ます。

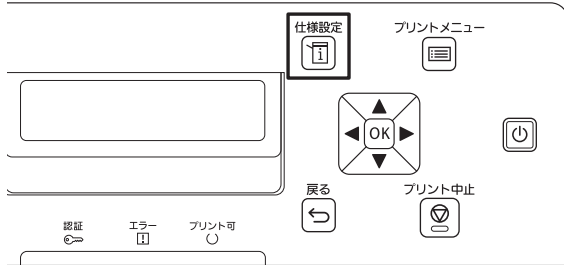


10. 機能設定リストをプリントします。

本機が正しく設置されたことを確認するために、機能設定リストをプリントします。工場出荷時の設定を確認するためにも利用できます。

●機能設定リストは A4 サイズの用紙にプリントされます。

- ① 操作パネルの〈仕様設定〉ボタンを押します。
[レポート/リスト] が表示されます。



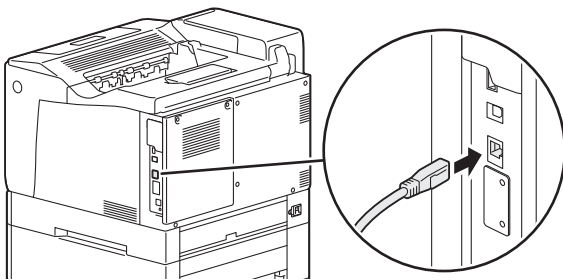
- ② 〈▶〉または〈OK〉ボタンを押します。
[機能設定リスト] が表示されます。
- ③ 〈▶〉または〈OK〉ボタンを押します。
プリントを開始する画面が表示されます。
- ④ 〈OK〉ボタンを押します。
機能設定リストがプリントされます。
- ⑤ 〈仕様設定〉ボタンを押します。
- ⑥ 機能設定リストで、次のことを確認します。
 - ・オプション製品が正しく取り付けられていること
 - ・用紙トレイのサイズが正しく設定されていること

11. コンピューターに接続します。

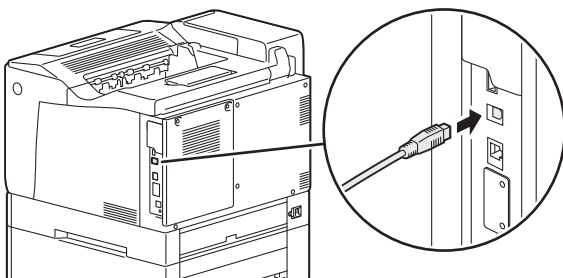
無線 LAN 接続

●無線 LAN アダプタ（オプション）が必要です。『ユーザーズガイド』を参照してください。

有線 LAN 接続



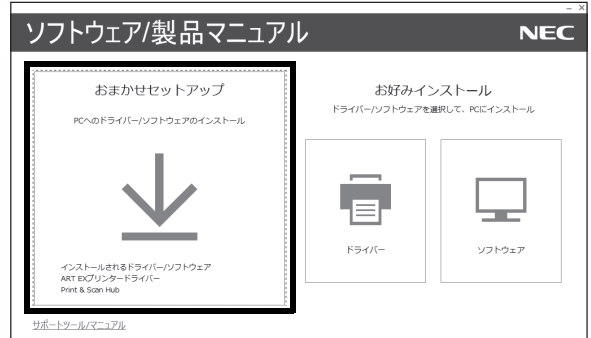
USB 接続



ソフトウェアのインストール

Windows®

1. コンピューターに「ソフトウェア/製品マニュアル」ディスクをセットします。
2. [おまかせセットアップ] をクリックします。



3. 画面の指示に従ってインストールを完了します。

●必要なソフトウェアだけを選んでインストールする場合は、[お好みインストール] を選びます。詳しくは、「ソフトウェア / 製品マニュアル」ディスクに格納されている『ユーザーズガイド』を参照してください。

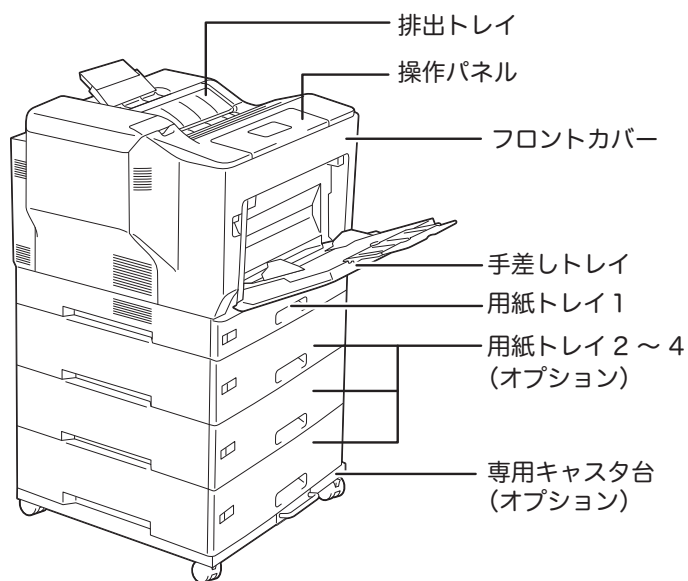
Mac

「ソフトウェア / 製品マニュアル」ディスクの以下の場所に格納されている Mac 用のマニュアルを参照して、ソフトウェアをインストールします。

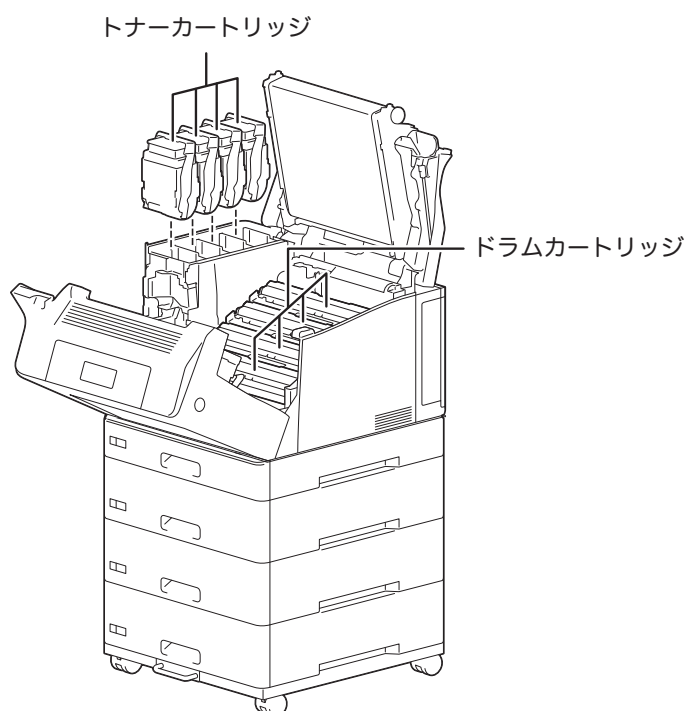
[Manuals] > [Mac] > [Japanese]

各部の名称

前面



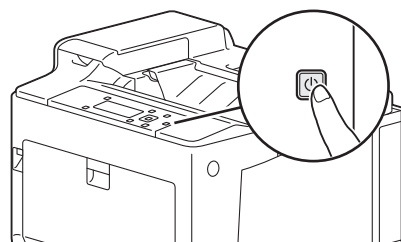
内部



電源について

電源を入れるとき

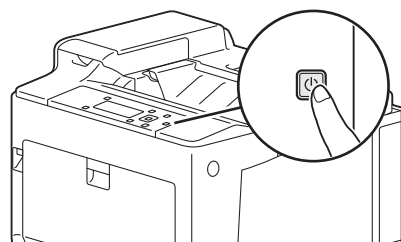
1. 〈電源／節電〉ボタンを押します。



電源を切るとき

- 操作パネルのディスプレイに、[お待ちください] が表示されているときは、電源を切らないでください。
- 〈電源／節電〉ボタンを押したあとも、しばらくの間は本機内部で電源を切るための処理をしています。電源コードをコンセントから抜くときは、操作パネルのディスプレイの表示と各ランプの点灯や点滅が消えてから行ってください。
- 電源を切ったあとに、再度、電源を入れる場合は、操作パネルのディスプレイの表示と各ランプの点灯が消えたあと、10 秒待ってから入れてください。

1. 〈電源／節電〉ボタンを押します。



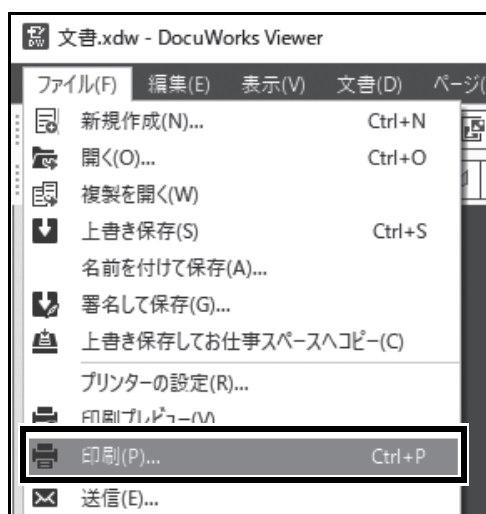
2. ディスプレイに [電源を切る] が表示されていることを確認し、〈OK〉ボタンを押します。

- 本機の電源を完全に切るためには、電源コンセントから電源コードを抜く必要があります。電源コードをコンセントから抜くときは、操作パネルのディスプレイの表示と各ランプの点灯や点滅が消えてから行ってください。

プリントのしかた

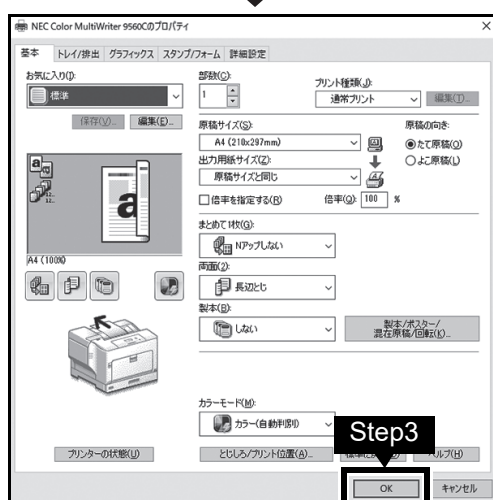
ここでは、Windows® 10 を例に手順を説明します。

1. コンピューターからプリントを指示します。

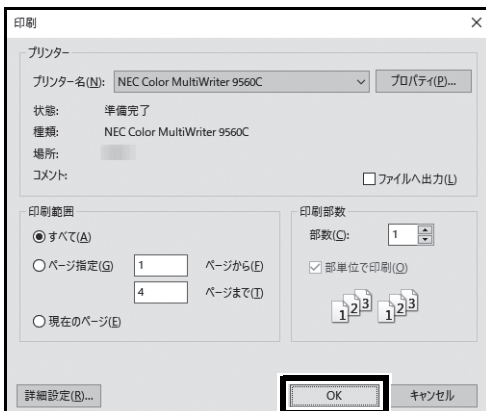


2. プリンターとプロパティを設定します。

●必要に応じて、各タブで機能を設定します。



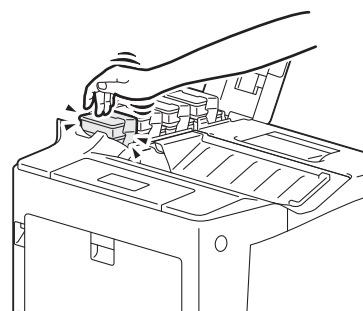
3. [OK] をクリックします。



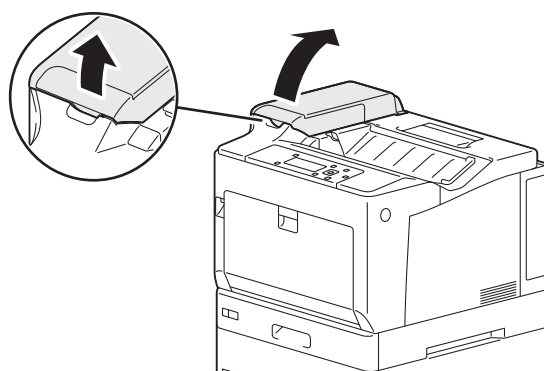
消耗品の交換

トナーカートリッジの交換

- トナーカートリッジの交換時期が近づくと、操作パネルのディスプレイにメッセージが表示されます。
- トナーカートリッジの交換は、本機の電源を入れたまま行ってください。
- トナーで床などを汚さないように、取り出したトナーカートリッジを置く場所には、あらかじめ紙などを敷いておいてください。
- 一度本機から取り外したトナーカートリッジは、再使用しないでください。画質不良やトナー汚れの原因になります。
- 取り外したトナーカートリッジを振ったり、たたいたりしないでください。残ったトナーがこぼれることがあります。
- トナーは人体に無害ですが、手や衣服についたときにはすぐに洗い流してください。
- トナーカートリッジは、開封後 1 年以内に使い切ることをおすすめします。
- 「トナー予備用意：X」が表示された場合、トナーが片寄っていることがあります。トナーカバーを開けて、ディスプレイに表示された色のトナーカートリッジを上から「トントン」と 5～6 回軽く叩いてください（トナーカートリッジを外す必要はありません）。トナーカバーを閉め、メッセージが消えない場合は、表示されたトナーカートリッジの予備を用意してください。

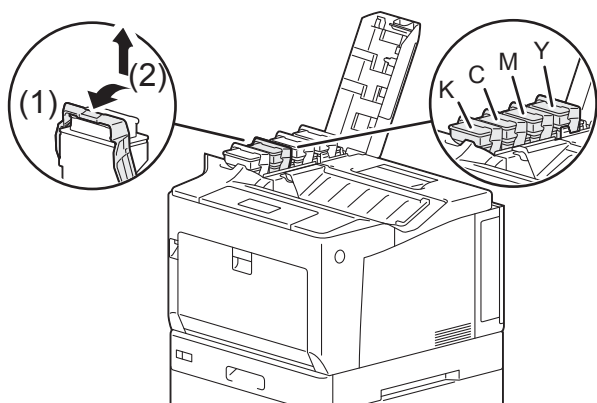


1. 本機が処理中でないことを確認し、トナーカバーを開けます。



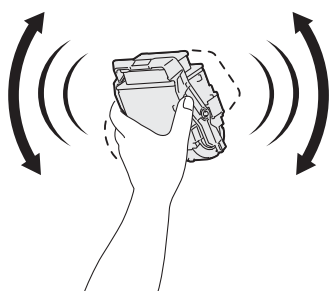
2. 取り出したトナーカートリッジを置く場所に、紙などを敷きます。

3. メッセージに表示されている色のトナーカートリッジのレバーを手前に引き (1)、トナーカートリッジを持ち上げて (2)、取り出します。

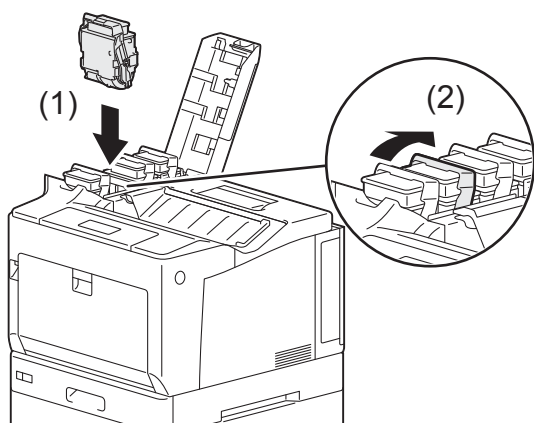


4. 使用済みのトナーカートリッジを、手順2で用意した紙などの上に静かに置きます。

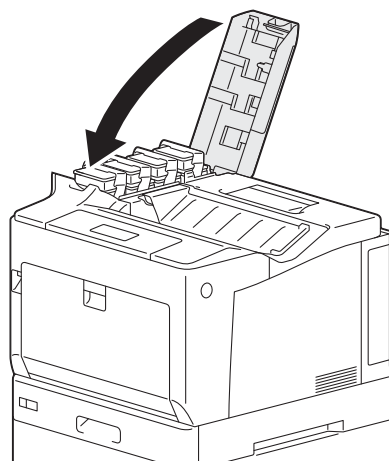
5. 新しいトナーカートリッジを軽く5回、上下左右によく振り、トナーを均一にします。



6. 新しいトナーカートリッジを差し込み (1)、レバーを奥にしっかりと倒してロックします (2)。



7. トナーカバーを閉じます。



8. 使用済みのトナーカートリッジを、新しいトナーカートリッジが梱包されていた箱に入れます。

9. 使用済みのトナーカートリッジを置いた紙などを、トナーに触れないように注意して片付けます。

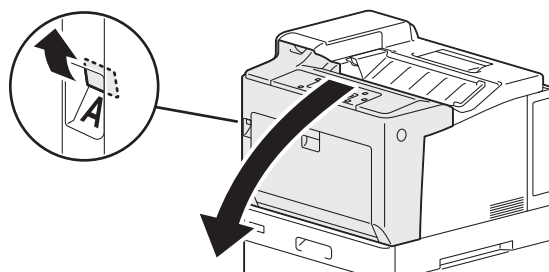
ドラムカートリッジの交換



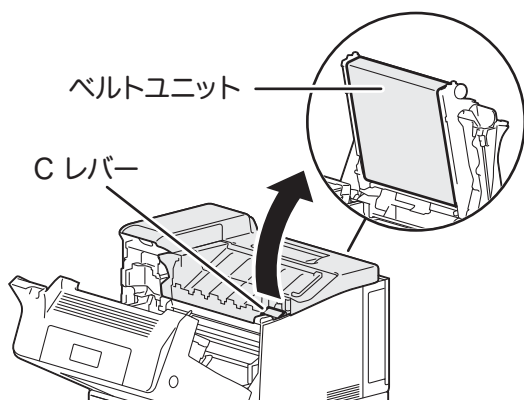
- ドラムカートリッジの交換時期が近づくと、操作パネルのディスプレイにメッセージが表示されます。
- 「ドラムカートリッジカラー (CMY)」はカラー各色共通で、シアン (C)、マゼンタ (M)、イエロー (Y) すべてのドラムカートリッジを交換する場合は3本必要です。
- ドラムカートリッジの交換は、本機の電源を入れたまま行ってください。
- ドラムカートリッジの交換直後に濃い横帯や濃度のムラが発生したときは、1日程度、本機を休ませてください。

1. 手差しトレイに用紙がセットされている場合は取り除き、手差しトレイを閉じます。

2. Aレバーを押上げて、フロントカバーを開けます。

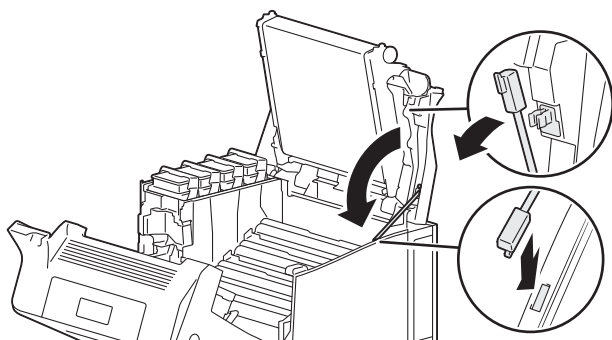


3. トップカバーの右手前のC レバーを持ち、静かにカバーを開けます。



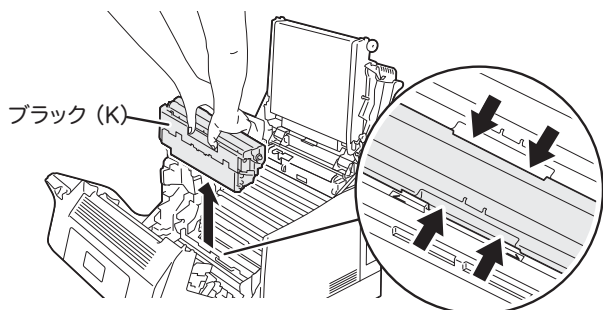
💡 ●ベルトユニットの表面（黒のフィルム）には触らないでください。

4. Cレバーを持ったまま、トップカバーの右側についている支え棒の先端を手前に外し、本機右側の溝に差し込んで、トップカバーを固定します。



💡 ●長時間カバーを開けたままにすると、ドラムカートリッジが光で劣化することがあります。10 分以内を目安にカバーを閉めるようにしてください。

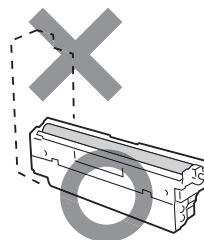
5. メッセージに表示されているドラムカートリッジを両手で静かに持ち上げて取り出します。
ここでは、ドラムカートリッジK（ブラック）を例に説明します。



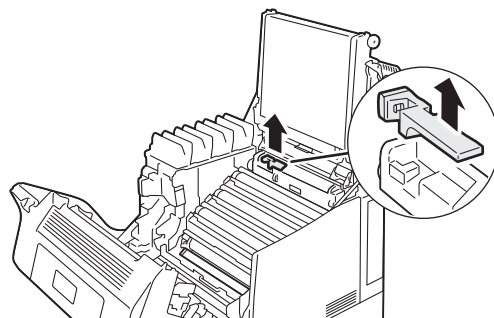
💡 ●ドラムカートリッジに付着したトナーに触れないように注意してください。

6. 使用済みドラムカートリッジは、新しいドラムカートリッジに同梱されているポリ袋に入れ、新しいドラムカートリッジを取り出したあと、その箱にしまいます。

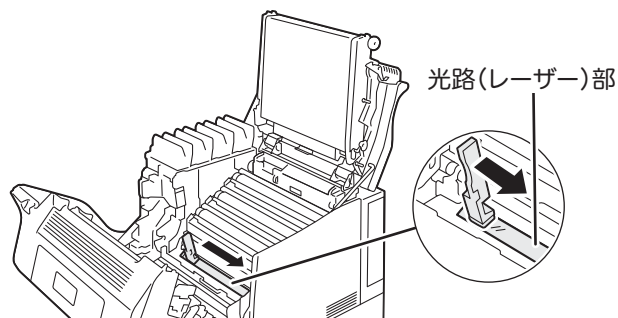
💡 ●箱から取り出したドラムカートリッジは、立てた状態で置かないでください。



7. 本機内部の図の位置にある清掃用パッドを取り外します。

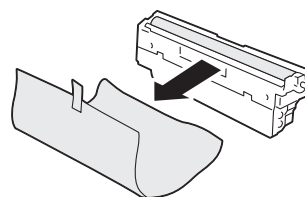


8. ドラムカートリッジがセットされていた溝に清掃用パッドを差し込み、左右どちらか一方から1回だけガラス面（光路（レーザー）部）の汚れを取り除きます。



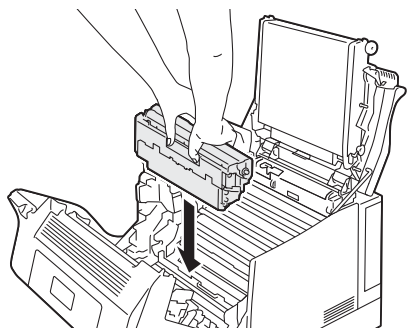
💡 ●指示した場所以外、機械の内部には触れないでください。部品によっては、高温になっているものがあります。

9. 新しいドラムカートリッジの包装紙をはがします。

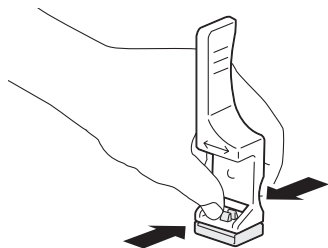


💡 ●包装紙をはがすときに、ドラム面に触れないようにしてください。

- 10.**新しいドラムカートリッジを左右の溝に合わせて平行に挿入して、取り付けます。

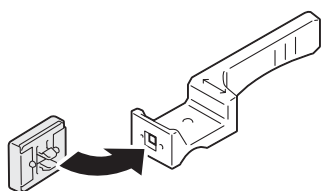


- 11.**清掃用パッドの前後のつめを矢印方向に指でつまみ、パッドを外します。

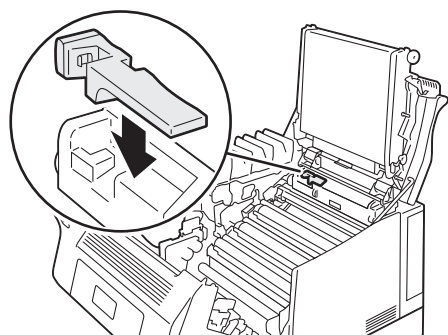


- 12.**新しいドラムカートリッジに同梱されている新しいパッドを、清掃用パッドの穴に差し込みます。

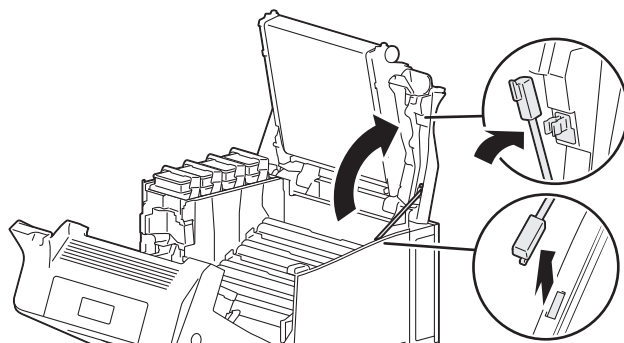
パッドが清掃用パッドに固定されます。



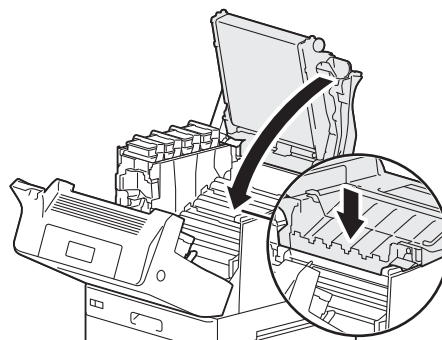
- 13.**清掃用パッドを元の場所に戻します。



- 14.**Cレバーを持ったまま、支え棒を元に戻します。

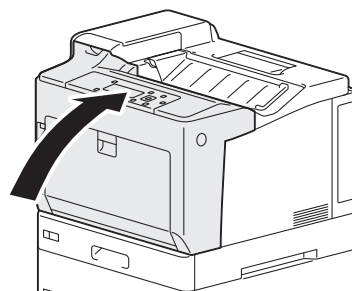


- 15.**トップカバーを静かに手前に倒したあと、カバー中央部を上から押して閉じます。



- 💡 ● トップカバーを閉じるとき、ベルトユニットの表面（黒のフィルム）には触らないでください。
● トップカバーを閉じるとき、トナーカバーを持たないでください。

- 16.**フロントカバーを閉じます。



紙詰まりの処置

用紙が詰まると、機械が停止してアラームが鳴ります。操作パネルの〈エラー〉ランプが点灯し、ディスプレイにメッセージが表示されます。

紙詰まりの位置を操作パネル左上の外観図で確認し、詰まっている用紙を取り除いてください。

⚠ 警告

- 定着ユニットの安全性

定着ユニットは取り外さないでください。定着ユニット内に詰まった紙を取り除く場合は、お買い求めの販売店またはサービス窓口にご連絡ください。お客様自身で行うと思わぬケガをするおそれがあります。

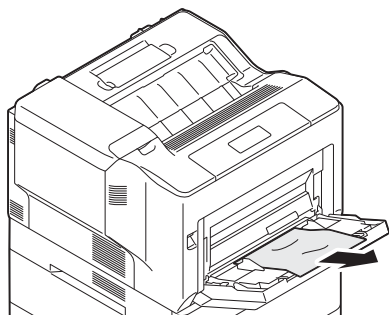


- 紙詰まりが発生したとき、紙詰まり位置を確認しないで用紙トレイを引き出すと、用紙が破れて機械の中に紙片が残ってしまうことがあります。故障の原因になるので、紙詰まりの位置を確認してから処置をしてください。
- 紙片が本機内部に残っていると、紙詰まりの表示は消えません。
- 紙詰まりの処置をするときは、本機の電源を入れたまま行ってください。
- 本機内部の部品には触れないでください。印字不良の原因になります。

手差しトレイでの紙詰まり

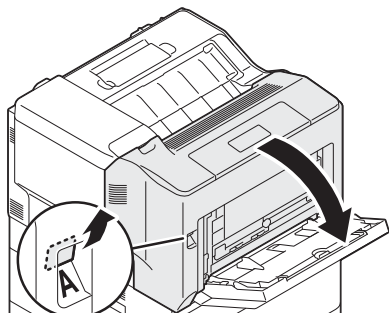
1. 手差しトレイの奥（用紙の差し込み口付近）を点検し、詰まっている用紙を取り除きます。

用紙が破れた場合は、内部に紙片が残っていないかを確認します。

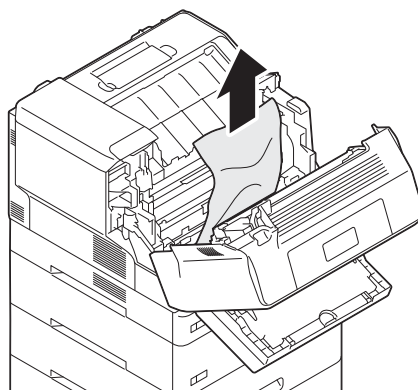


- 手差しトレイに用紙を複数枚セットしている場合は、いったんすべての用紙を取り除いてください。

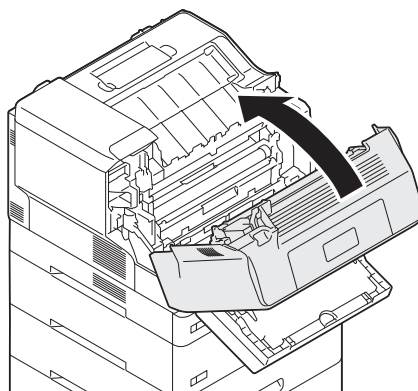
2. Aレバーを押し上げて、フロントカバーを開けます。



3. 詰まっている用紙を取り除きます。



4. フロントカバーを閉じます。

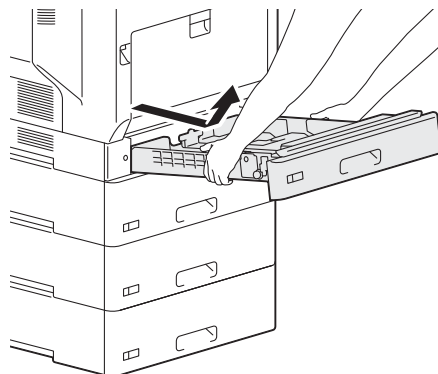


トレイ 1 ～ 4 での紙詰まり



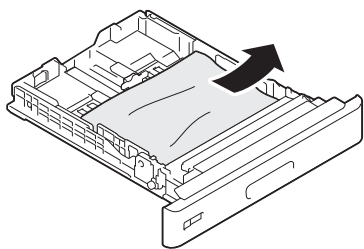
- 紙詰まりの位置を確認しないでトレイを引き出すと、用紙が破れて機械の中に紙片が残ってしまうことがあります。故障の原因になるので、操作パネルの左にある表示部で紙詰まりの位置を確認してから処置してください。

1. 手差しトレイに用紙がセットされている場合は取り除き、手差しトレイを閉じます。
2. ディスプレイに表示されている用紙トレイをゆっくりと引き出し、取り外します。
メッセージに複数のトレイが表示されている場合は、下のトレイから先に確認します。

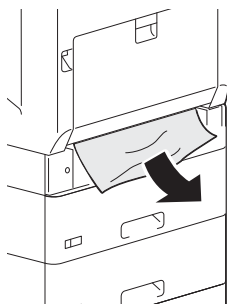


- トレイにセットされた用紙は、トレイの手前側を経由してプリンター本体に送られます。この部分に用紙が詰まった場合、下のトレイから順に引き出さないと上段のトレイが引き出せないことがあります。

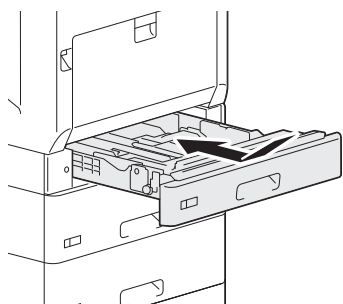
3. 詰まっている用紙や、しわになっている用紙を取り除きます。



4. プリンターの内部に詰まっている用紙がある場合は、破れないように注意して引き出します。



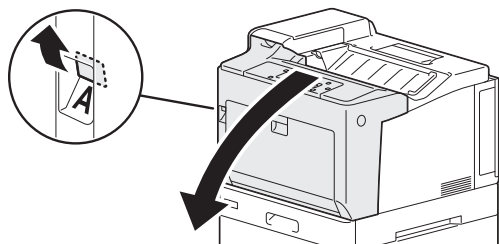
5. 奥に突き当たるところまで、トレイをゆっくりと押し込みます。



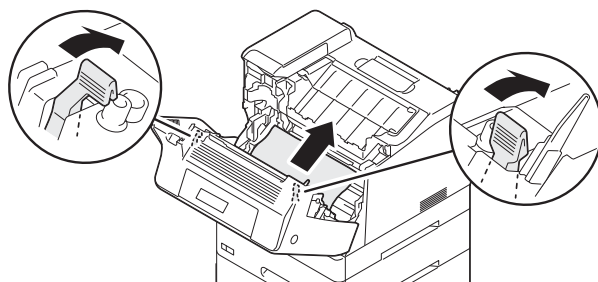
フロントカバー内での紙詰まり (A レバー)

- 用紙を取り除くとき、ベルトユニットの表面（黒のフィルム）には触れないようにしてください。ベルトユニットの表面に引っかき傷、汚れまたは手の脂が付くと印字品質が低下します。
- 転写ローラーの一部にトナーの汚れが付着している場合がありますが、画質には影響ありません。

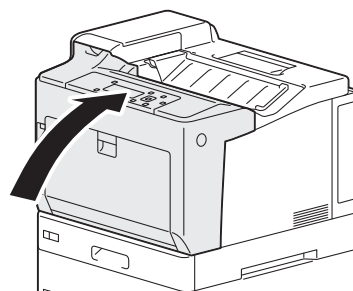
1. Aレバーを押し上げて、フロントカバーを開けます。



2. 図の位置にあるレバーを押し下げ、詰まった用紙がある場合は取り除き、内部に破れた紙片が残っていないかを確認し、レバーを戻します。

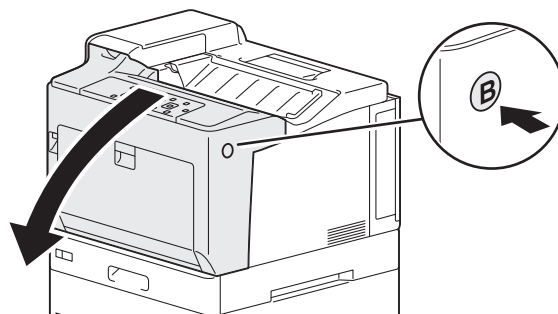


3. フロントカバーを閉じます。

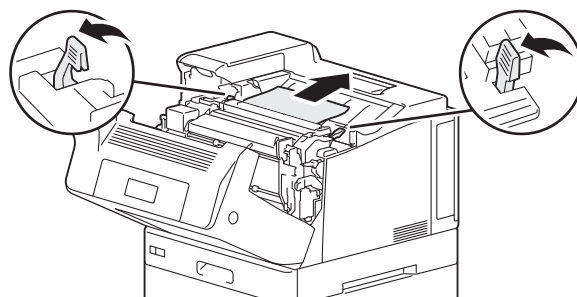


フロントカバー内での紙詰まり (B ボタン)

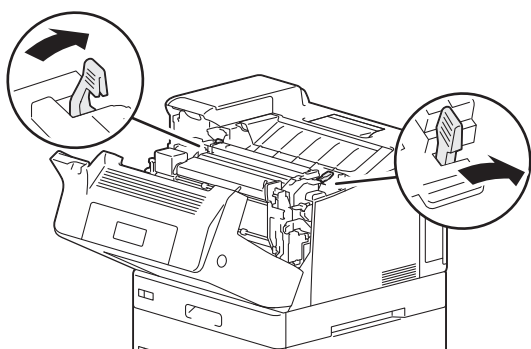
1. Bボタンを押し、フロントカバーをゆっくりと開けます。



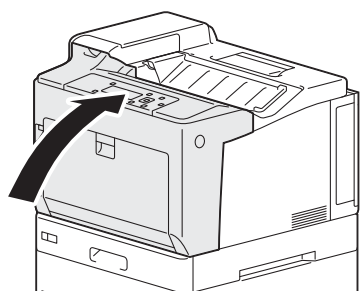
2. 図の位置にあるレバーをフロントカバー側に引いて起こし、詰まった用紙がある場合は取り除きます。



- 3.** 内部に破れた紙片が残っていないかを確認し、レバーを戻します。

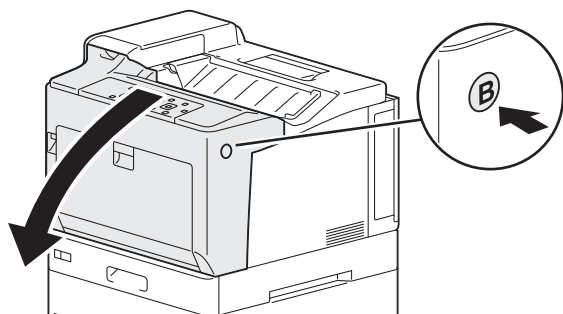


- 4.** フロントカバーを閉じます。

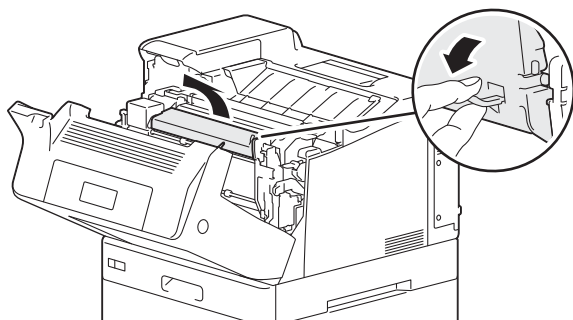


レバー E 内での紙詰まり

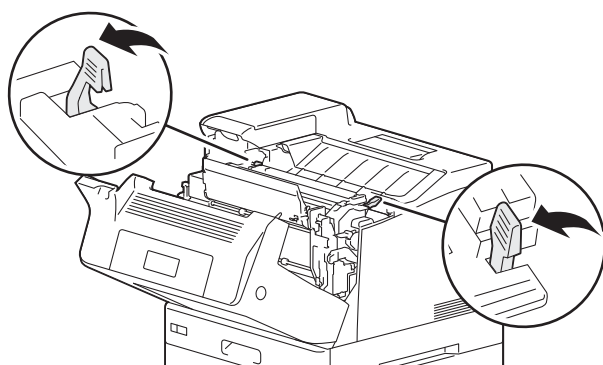
- 1.** Bボタンを押し、フロントカバーをゆっくりと開けます。



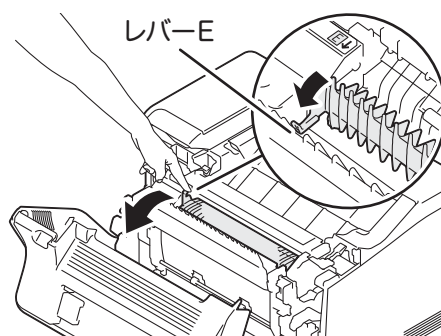
- 2.** 両面プリントモジュールカバーの右側のつまみを手前に引いて開けます。



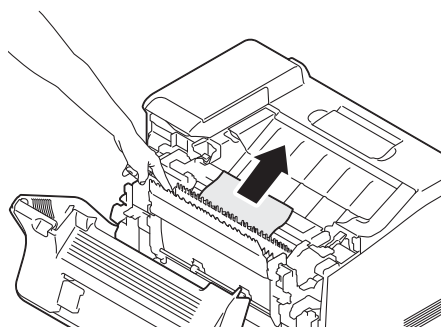
- 3.** 定着ユニット両端奥の、図の位置にあるレバーを、手前に引いて起こします。



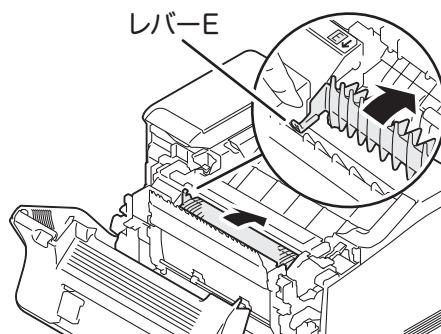
- 4.** レバー E を手前に倒します。



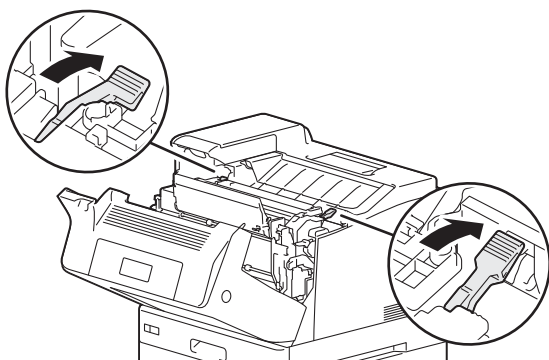
- 5.** レバー E を倒したまま、詰まっている用紙を上方向に取り除きます。



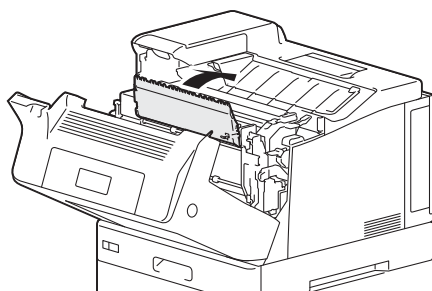
- 6.** レバー E から手を離します。



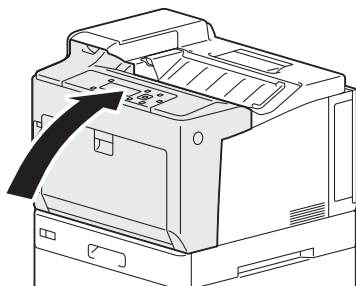
7. 手順3で起こした、定着ユニット両端奥のレバーを、奥に倒します。



8. 両面プリントモジュールカバーの右側のつまみを使って、カバーを閉じます。



9. フロントカバーを閉じます。



- 紙詰まりが解決しない場合は、A レバーでフロントカバーを開けて内部に紙片が残っていないか確認してください。詳しくは、「フロントカバー内での紙詰まり (A レバー) (P.12)」を参照してください。

安全にご利用いただくために

プリンターを安全にご利用いただくために、このマニュアルの指示に従って操作してください。このマニュアルには製品のどこが危険か、指示を守らないとどのような危険に遭うか、どうすれば危険を避けられるかなどについて説明されています。また、製品内で危険が想定される場所またはその付近には警告ラベルが貼り付けられています。

お買い上げいただいた製品は、厳しい安全基準、環境基準に則って試験され、合格した商品です。常に安全な状態でお使いいただけるよう、下記の注意事項に従ってください。

⚠ 警告

新機能の追加や外部機器との接続など、許可なく改造を加えた場合は、保証の対象とならない場合がありますのでご注意ください。詳しくは、担当のサービスセンターへお問い合わせください。

安全にかかわる表示

各警告図記号は以下のような意味を表しています。

⚠ 危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性があり、かつその切迫の度合いが高いと思われる事項があることを示しています。
⚠ 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性があると思われる事項があることを示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害を負うことが想定される内容および物的損害の発生が想定される事項があることを示しています。

△記号は、製品を取り扱う際に注意すべき事項があることを示しています。指示内容をよく読み、製品を安全にご利用ください。



⊘記号は、行ってはならない禁止事項があることを示しています。指示内容をよく読み、禁止されている事項は絶対に行わないでください。



●記号は、必ず行っていただきたい指示事項があることを示しています。指示内容をよく読み、必ず実施してください。



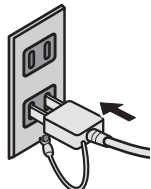
安全上のご注意

ここで示す注意事項はプリンターを安全にお使いになる上で特に重要なものです。この注意事項の内容をよく読んで、ご理解いただき、プリンターをより安全にご活用ください。記号の説明については「安全にかかわる表示」を参照してください。

電源およびアース接続時の注意

⚠ 警告

⚡ 電源コードのアース線を取り付ける



万一、漏電した場合の感電や火災事故を防ぐために、アース線を必ず次のいずれかに取り付けてください。

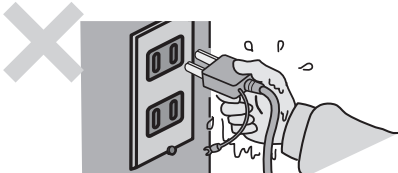
- ・電源コンセントのアース線
- ・銅片などを850mm以上の地中に埋めたもの
- ・接地工事（D種）を行っている接地端子

アース線の取り付けは、必ず電源プラグを電源コンセントに差し込む前に行ってください。また、設置接続（アース線）を外す場合は、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてから行ってください。ご使用になる電源コンセントのアース線をご確認ください。アースが取れない場所や、アースが施されていない場合は、お買い求めの販売店またはNECの相談窓口にお問い合わせください。

ただし次のようなところには絶対にアース線を接続しないでください。

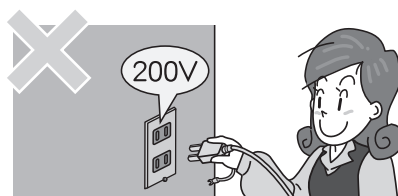
- ・ガス管（引火や爆発のおそれがあります）
- ・電話専用アース線および避雷針（落雷時に大量の電流が流れるおそれがあります。）
- ・水道管や蛇口（配管の途中がプラスチックになっている場合はアースの役目を果たしません。）

🚫 ぬれた手で電源プラグを触らない



ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。

🚫 100V以外のコンセントに差し込まない



電源は指定された電圧、電流の壁付きコンセントをお使いください。指定外の電源を使うと火災や漏電になることがあります。

プリンターの定格電圧値および定格電流値より容量の大きい電源コンセントに接続して使用してください。プリンターの定格電圧値および定格電流値は、プリンター背面パネルの定格銘板ラベルを確認してください。

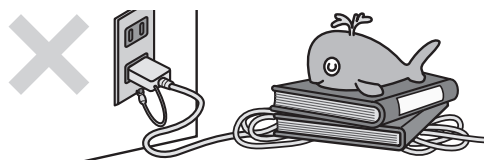
⚠ 注意

❗ 専用電源コード以外は使わない



プリンターに添付されている電源コード以外のコードを使わないでください。電源コードに定格以上の電流が流れると火災になるおそれがあります。

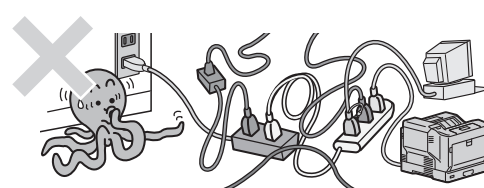
❗ 電源コードは曲げたりねじったりしない



電源コードを無理に曲げたり、ねじったり、束ねたり、ものを載せたり、はさみ込んだりしないでください。またステーブルなどで固定することも避けてください。コードが破損し、火災や感電の原因となるおそれがあります。

電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線）弊社のサービス窓口または販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となるおそれがあります。

🚫 延長コードを使わない



添付のコードのみでは届かないところには設置しないでください。コンセントに定格以上の電流が流れると、コンセントが過熱して火災の原因となるおそれがあります。電源接続に関してご不明な点がある場合は、弊社のサービス窓口または販売店にご相談ください。

🚫 添付の電源コードを他の装置や用途に使わない

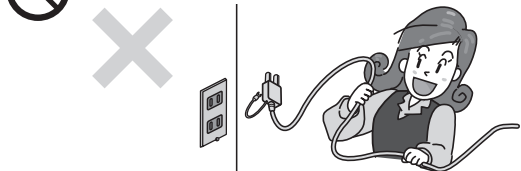
添付の電源コードは本装置に接続し、使用することを目的として設計され、その安全性が確認されているものです。決して他の装置や用途に使用しないでください。火災や感電の原因となるおそれがあります。

❗ 本製品の電源を完全に切るためにはコンセントから電源プラグを抜かなければいけません。緊急時に容易にプラグを抜くことができるように本製品はコンセントの近くに設置してください。

🧹 清掃を行う場合は電源プラグを抜く

プリンターの清掃を行う場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源スイッチを切らずにプリンターの清掃を行うと、感電の原因となるおそれがあります。

電源コードを抜くときはコードを引っ張らない



電源プラグを抜くときはプラグ部分を持って行ってください。コード部分を引っ張るとコードが破損し火災や感電の原因となるおそれがあります。

設置時の注意

⚠ 警告

電源コードを踏まない場所に設置する
プリンターは、電源コードの上を人が踏んで歩いたり足で引っ掛けたりするような場所には設置しないでください。発熱による火災や感電のおそれがあります。

発熱器具に近い場所には設置しない
以下のような場所にはプリンターを設置しないでください。

- ・ 発熱器具に近い場所
- ・ 揮発性可燃物やカーテンなどの燃えやすいものの近く
- ・ 高温、多湿の場所や換気が悪くホコリの多い場所
- ・ 調理台や加湿器のそばなど

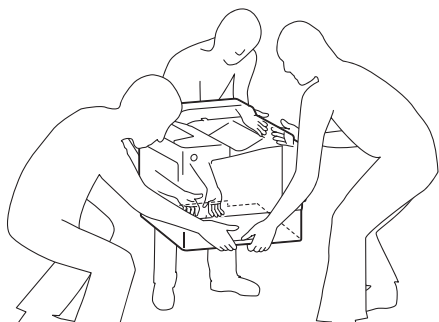
⚠ 注意

直射日光が当たるところには置かない



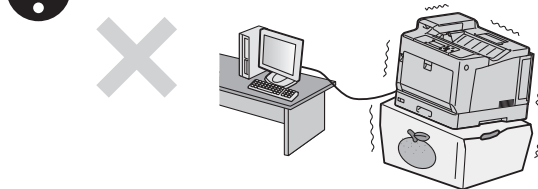
プリンターを窓ぎわなどの直射日光があたる場所には置かないでください。そのままにすると内部の温度が上がり、プリンターが異常動作したり、火災を引き起こしたりするおそれがあります。

プリンターを運ぶときは3人以上で



プリンターの質量は、44.5 kg（本体のみ、消耗品を含む）です。
プリンターを持ち上げるときは、プリンターの左右の手かけ部分を、3人でしっかりと持ってください。
指示した場所以外を持って持ち上げることは絶対にしないでください。

不安定な場所に置かない

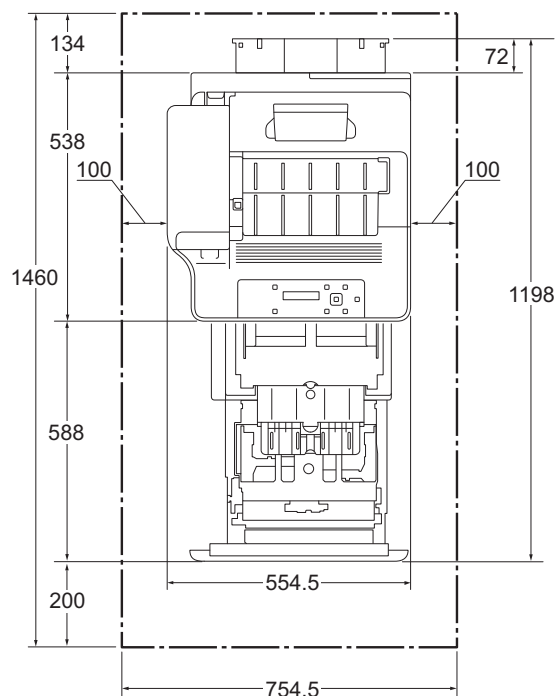


プリンターを不安定な場所には置かないでください。プリンターが破損するおそれがあるばかりではなく、思わぬけがや周囲の破損の原因となることがあります。

設置時は周囲のスペースを確保し通気口はふさがらない

プリンターには通気口があります。プリンターの通気口をふさがないでください。通気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となるおそれがあります。

プリンターを安全に正しく使用し、プリンターの性能を維持するために、下図の設置スペースを確保してください。また、プリンターの異常状態によっては、電源プラグをコンセントから抜いていただくことがありますので、設置スペース内に物を置かないでください。



単位:mm

プリンターを傾けない

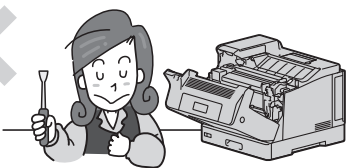


プリンターを10度以上に傾けないでください。転倒などによるケガの原因となるおそれがあります。

機械使用上の注意

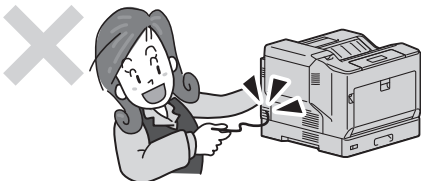
⚠ 警告

🚫 分解・修理・改造しない



マニュアルに記載されている場合を除き、分解したり、修理／改造を行ったりしないでください。プリンターが正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の原因となるおそれがあります。

🚫 プリンター内に異物を入れない



プリンターの間隙や通気口に物を入れないでください。また、以下のものは、プリンターの上に置かないでください。

- ・花瓶やコーヒーカップなどの液体の入ったもの
- ・クリップやホチキスの針などの金属類
- ・重いもの

液体がこぼれたり、金属類が隙間から入り込むとプリンター内部がショートし、火災や感電の原因となるおそれがあります。

🚫 煙や異臭、異音が出たら電源OFF



次のようなときにはただちに使用を中止し、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、弊社のサービス窓口または販売店にご連絡ください。そのまま使用を続けると、感電や火災の原因となるおそれがあります。

- ・プリンターから発煙したり、プリンターの外側が異常に熱くなったとき
- ・異常な音やにおいがするとき
- ・電源コードが傷ついたり、破損したとき
- ・ブレーカーやヒューズなど部屋の安全装置が働いたとき
- ・プリンターの内部に水が入ったとき
- ・プリンターが水をかぶったとき
- ・プリンターの部品に損傷があったとき

🚫 電気を通しやすい紙は使用しない

電気を通しやすい紙（折り紙／カーボン紙／導電性コーティングを施された紙など）を使用しないでください。ショートして火災の原因となるおそれがあります。

🚫 スプレータイプのクリーナーは使用しない

プリンターの性能の劣化を防ぎ安全を確保するため、清掃には指定されたものをご使用ください。スプレータイプのクリーナーは、引火や爆発の危険がありますので、絶対に使用しないでください。

🚫 CD-ROM対応プレイヤー以外では使用しない

付属のCD-ROMをCD-ROM対応プレイヤー以外では絶対に使用しないでください。大音量により耳に障害を被ったり、スピーカーを破損するおそれがあります。

🚫 レーザーについて

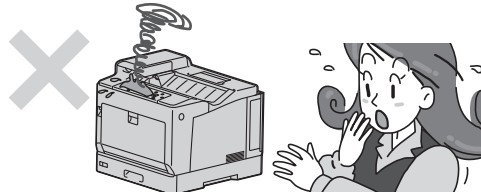
注意：取扱説明書に書かれていること以外の、カバーを外すなどの操作はしないでください。レーザーの被爆の原因になるおそれがあります。失明、やけどなどの原因となるおそれがあります。

この機械は、レーザーの国際規格IEC60825 (Class 1 レーザー機器) に適合しています。このことはレーザー被爆の危険がないことを意味しています。レーザーは機械内部で放射されますが、部品内部の漏洩防止筐体やカバーなどによって内部に閉じ込められています。したがって、お客様のご使用中にレーザーに被爆することはありません。

⚠ 定着ユニットの安全性

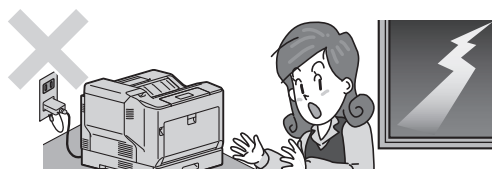
定着ユニットは取り外さないでください。定着ユニット内に詰まった紙を取り除く場合にはお買い求めの販売店またはサービス窓口にご連絡ください。お客様自身で行うと思わぬケガをするおそれがあります。

🚫 壊れた液晶ディスプレイには触らない



壊れた液晶ディスプレイには触らないでください。操作パネルの液晶ディスプレイ内には人体に有害な液体があります。万一、壊れた液晶ディスプレイから流れ出た液体が口に入った場合は、すぐにうがいをし、医師に相談してください。また、皮膚に付着したり目に入った場合は、すぐに流水で15分以上洗浄して、医師に相談してください。

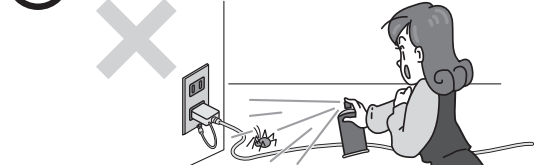
🚫 雷が鳴り出したらプリンターに触らない



火災・感電の原因となります。雷が発生しそうなときは電源プラグをコンセントから抜いてください。また雷が鳴りだしたらケーブル類も含めて装置には触らないでください。

落雷などが原因で瞬間的に電圧が低下することがありますが、この対策として交流無停電電源装置などを使用することをお勧めします。

電源コードに薬品類をかけない



電源コードに殺虫剤などの薬品類をかけないでください。コードの被覆が劣化し、感電や火災の原因となることがあります。

電源プラグを中途半端に差し込まない



電源プラグはしっかりと差し込んでください。中途半端に差し込んだまま、ほこりがたまりと接触不良の発熱による火災の原因となるおそれがあります。また、プラグ部分は時々拭いて、乾いた布でほこりやゴミをよくふき取ってください。ほこりがたまったままで、水滴などが付くと発熱し、火災となることがあります。

△ 注意

破損した電源コードは使わない



電源コードが破損した場合は、ビニールテープなどで補修して使用しないでください。補修した部分が過熱し、火災や感電の原因となるおそれがあります。損傷したときは、すぐに同じ電源コードに取り替えてください。

インターロックスイッチを無効にしない

プリンターのインターロックスイッチを無効にしないでください。プリンターのインターロックスイッチに磁気を帯びたマグネット類を近づけないでください。プリンターが作動状態になる場合があり、ケガや感電の原因となるおそれがあります。

プリンター内部の詰まった用紙は無理に取り除かない

プリンター内部に詰まった用紙や紙片は無理に取り除かないでください。

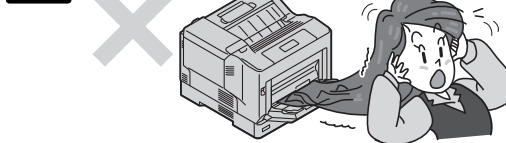
特に、定着部やローラー部に用紙が巻き付いているときは無理に取らないでください。ケガややけどの原因となるおそれがあります。ただちに電源スイッチを切り、弊社のサービス窓口または販売店にご連絡ください。

高温注意



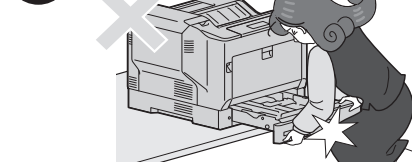
プリンターのカバーを開けて作業する場合は、十分に冷めてから行ってください。プリンターの内部には使用中に高温になる定着ユニットという部分があり、触ると火傷するおそれがあります。

巻き込み注意



プリンターの動作中は用紙挿入口、排出口に手や髪の毛を近づけないでください。髪の毛を巻き込まれたり、指をはさまれたりしてけがをするおそれがあります。

用紙カセットを勢いよく引き出さない



用紙カセットを引き出すときは、ゆっくり引き出してください。用紙カセットを勢いよく引き出すと、ひざなど身体にぶつかりけがをするおそれがあります。

換気や通風を十分行う



換気の悪い部屋で長時間使用したり、大量にプリントすると、オゾンなどの臭気により、快適なオフィス環境が保てない原因となります。換気や通風を十分行うように心がけてください。

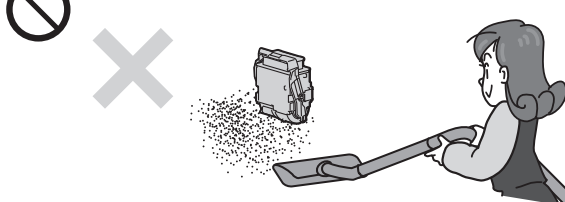
消耗品取り扱い上の注意

△ 警告


消耗品は正しく保管する

消耗品は、箱やボトルにある説明に従って保管してください。

掃除機でトナーを吸い取らない




床などにこぼしたトナーは、ほうきで掃き取るか、または石けん水を湿らした布などで拭き取ってください。掃除機を用いると、掃除機内部のトナーが、電気接点の火花などにより、発火または爆発するおそれがあります。大量にこぼれた場合、弊社のサービス窓口または販売店にご連絡ください。

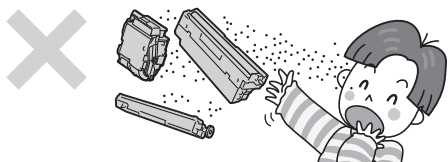
 トナーカートリッジ、ドラムカートリッジ、およびトナー回収ボトルを火の中に投げ入れない




トナーカートリッジやドラムカートリッジ、トナー回収ボトルは、絶対に火中に投げないでください。トナーカートリッジやドラムカートリッジ、トナー回収ボトルに残っているトナーが発火または爆発する可能性があります、火傷のおそれがあります。使い終わった不要なトナーカートリッジやドラムカートリッジ、トナー回収ボトルは、必ず弊社のサービス窓口または販売店にお渡しください。弊社にて処理いたします。

注意

 トナーカートリッジ、ドラムカートリッジ、およびトナー回収ボトルは、幼児の手が届かない場所に保管する




トナーカートリッジやドラムカートリッジ、およびトナー回収ボトルは幼児の手が届かないところに保管してください。幼児がトナーを飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談し指示を受けてください。

 トナーに触れたり、吸引したり、目や口に入れない



トナーカートリッジやドラムカートリッジを交換する際は、トナーが飛散しないように注意してください。また、トナーが飛散した場合は、トナーが皮膚や衣服に付いたり、トナーを吸引したり、または目や口に入らないように注意してください。

 トナーが皮膚や衣服についたり、万一、目や口に入ったら応急処置

次の事項に従って、応急処置をしてください。

- ・トナーが皮膚や衣服に付着した場合は、石けんを使って水でよく洗い流してください。
- ・トナーが目に入った場合は、目に痛みがなくなるまで15分以上多量の水でよく洗い、必要に応じて医師の診断を受けてください。
- ・トナーを吸引した場合は、新鮮な空気のところへ移動し、多量の水でよくうがいをしてください。
- ・トナーを飲み込んだ場合は、飲み込んだトナーを吐き出し、水でよく口の中をすすぎ、多量の水を飲んでください。すみやかに医師に相談し指示を受けてください。

規制について

警告



- ・本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の無線設備として、工事設計認証を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。また、本製品は、日本国内でのみ使用できます。
- ・本製品は工事設計認証を受けていますので、以下の事項をおこなうと法律で罰せられることがあります。
 - 本製品を分解／改造すること
 - 本製品の裏面に貼ってある証明ラベルをはがすこと
- ・本製品の無線チャンネルは、以下の機器や無線局と同じ周波数帯を使用します。
 - 産業・化学・医療用機器
 - 工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の無線局

①構内無線局（免許を要する無線局）

②特定小電力無線局（免許を要しない無線局）

次のような機器や無線局の近くでは使用しないでください。

- ・ペースメーカー等の産業・科学・医療用機器等
- ・工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）
- ・特定小電力無線局（免許を要しない無線局）

本機の無線チャンネルは上記の機器や無線局と同じ周波数帯を使用します。そのため、電波の干渉が発生し、通信ができなくなったり、通信速度が遅くなったりするおそれがあります。

- ・万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を中止した上、弊社のサービス窓口または販売店にご連絡ください。
- ・その他、本製品から電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、弊社のサービス窓口または販売店にご連絡ください。

注意



電磁波障害対策自主規制について

この装置は、クラス B 機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B



受信障害について

ラジオの雑音、テレビなどの画面に発生するチラツキ、ゆがみがこの商品による影響と思われる場合は、この商品の電源コードを抜いてください。

電源コードを抜くことにより、ラジオやテレビなどが正常な状態に回復するようでしたら、次の方法を組み合わせて障害を防止してください。

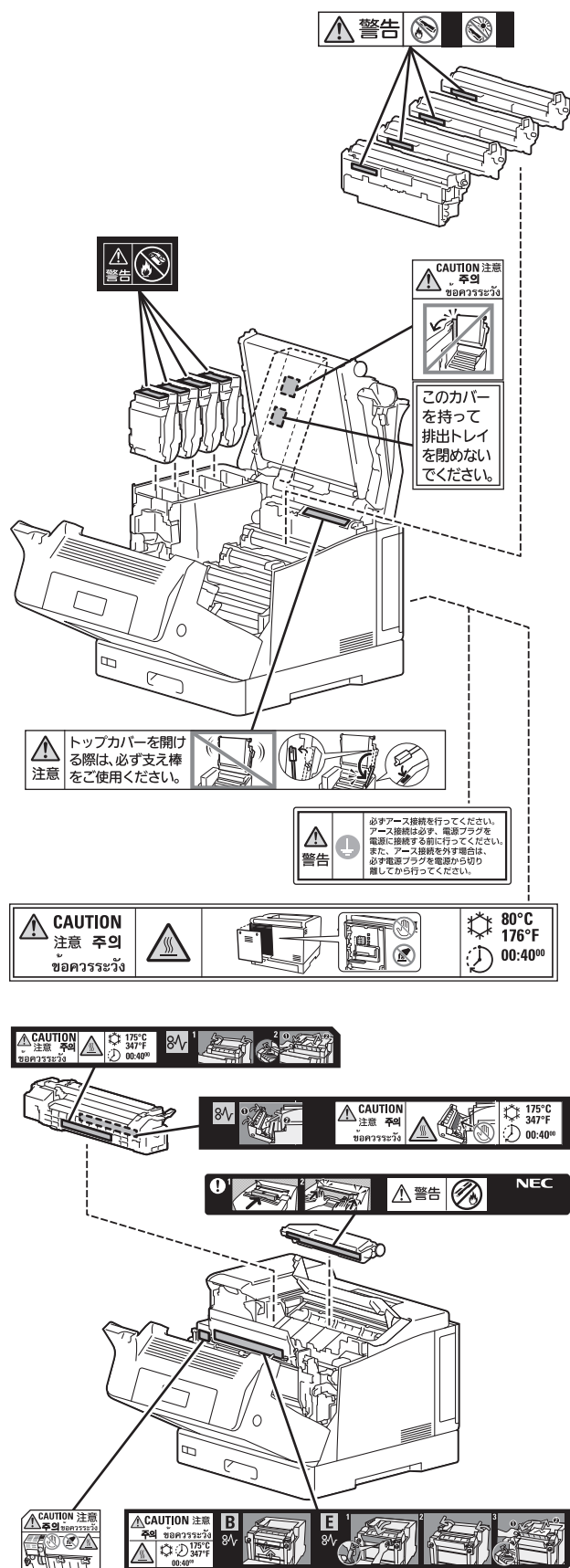
- ・本機とラジオやテレビ双方の位置や向きを変えてみる。
- ・本機とラジオやテレビ双方の距離を離してみる。
- ・この商品とラジオやテレビ双方の電源を別系統のものに変えてみる。
- ・受信アンテナやアンテナ線の配置を変えてみる。(アンテナが屋外にある場合は電気店にご相談ください。)
- ・ラジオやテレビのアンテナ線を同軸ケーブルに変えてみる。

高調波自主規制について

本機器はJIS C 61000-3-2(高調波電流発生限度値)に適合しています。

警告および注意ラベルの貼り付け位置

機械に貼ってあるラベルの警告や説明には必ず従ってください。特に「高温注意」「高圧注意」のラベルが貼ってある箇所には、絶対に触れないでください。やけどや感電の原因となるおそれがあります。



SDS(安全データシート)の提供について

「労働安全衛生法」に基づき、本機用消耗品のSDSを弊社ホームページにて公開しています。

環境について

- ・サポートについて
弊社は、本製品の消耗品および機械の補修用性能部品（機械の機能を維持するために必要な部品）を機械本体の製造終了後7年間保有しています。
- ・粉塵、オゾン、ベンゼン、スチレン、総揮発性有機化合物（TVOC）の放散については、エコマーク複写機・プリンタなどの画像機器の物質エミッションの放散に関する認定基準を満たしています。試験方法はドイツ環境ラベルのBlue Angelに基づき試験を実施しました。
- ・回収したトナーカートリッジ、ドラムカートリッジ、およびトナー回収ボトルは、環境保護・資源有効活用のため、部品の再使用、材料としてのリサイクル、熱回収などの再資源化を行っています。
- ・不要となったトナーカートリッジ、ドラムカートリッジ、およびトナー回収ボトルは適切な処理が必要です。トナーカートリッジ、ドラムカートリッジ、およびトナー回収ボトルは、無理に開けたりせず、必ずお買い求めの販売店またはサービス窓口にお渡しください。

法律上の注意事項

1. 本物と偽って使用する目的で次の通貨や有価証券を複製することは、犯罪として厳しく処罰されます。
 - ・ 紙幣（外国紙幣を含む）、国債証券、地方債証券、郵便為替証券、郵便切手、印紙。
これらは、本物と偽って使用する意図がなくても、本物と紛らわしいものを作ること自体が犯罪になります。
 - ・ 株券、社債、手形、小切手、貨物引換証、倉荷証券、クーポン券、商品券、鉄道乗車券、定期券、回数券、サービス券、宝くじ・勝馬投票券・車券の当たり券などの有価証券。
2. 次の文書や記名捺印などを複製・加工して、正当な権限なく新たな証明力を加えることは、犯罪として厳しく処罰されます。
 - ・ 各種の証明書類など、公務員または役所を作成名義人とする文書・図面。
 - ・ 契約書、遺産分割協議書など私人を名義人とする権利義務に関する文書。
 - ・ 推薦状、履歴書、あいさつ状など、私人を名義人とする事実証明に関する文書。
 - ・ 役所または公務員の印影、署名、記名。
 - ・ 私人の印影または署名。
3. 著作権が存在する書籍、新聞、雑誌、冊子、絵画、図画、版画、地図、図面、写真などの著作物は、法律に定める例外にあたる場合※を除き、権利者の許諾なく、次の行為はできません。
 - (1) 複製
紙に定着させた著作物を複写機でコピーすること、電子的に読み取った著作物のデータをハードディスクや外部メディアに記録すること、記録した著作物のデータをプリンターで出力すること、ネットワークを介してダウンロードすることなど。
 - (2) 改変
紙に定着させた著作物を加工や修正すること、電子的に読み取った著作物のデータを切除、書き換え、切り貼りすることなど。
 - (3) 送信
電子的に読み取った著作物のデータを、インターネットその他の公衆の電気通信回線を通じて電子メールやファクシミリで送信すること、ホームページへの掲載など、公衆の電気通信回線に接続したネットワークサーバーに著作物のデータを格納することなど。

※ 法律に定める例外にあたる場合の例

- ・ 個人的または家庭内、その他これに準ずる生活範囲での私的な使用を目的とし複製する場合。
- ・ 国立図書館、私立図書館、学校附属施設、公立の博物館、公立の各種資料センター、公益目的の研究機関など、公衆利用への提供を目的とする図書館等が複製する場合。
- ・ 学校その他教育機関において教員または授業の受講者が授業で使用するために複製する場合。
ただし、種類・用途・部数・態様に照らして、権利者の利益を不当に害しない範囲内に限ります。

無線LAN 製品使用時のセキュリティに関するご注意

無線LANでは、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN 接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁等）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

- ・ 通信内容を盗み見られる悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、ID やパスワード又はクレジットカード番号等の個人情報メールの内容等の通信内容を盗み見られる可能性があります。
- ・ 不正に侵入される悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）コンピュータウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）等の行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線LAN カードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線LAN 製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を充分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお奨めします。

NEC MultiWriter をご購入のお客さまへ

～ 製品本来の性能でお使いいただくために ～

『有寿命部品（有償）』の交換が必要です

NEC 製プリンタでは、その機能・性能を維持するために、印刷ページ数に応じて交換を必要とする部品があり、これを『有寿命部品』※と呼びます。

有寿命部品とは、紙を送り出すローラー部分など、印刷を重ねるたびに磨耗・劣化が避けられない部品のことです。有寿命部品の推奨交換周期（寿命の目安）を超えて使用し続けると、紙詰まりの多発や印刷ムラ・汚れなど、トラブルの元になってしまう可能性があります。

有寿命部品の推奨交換周期（寿命の目安）は、印刷ページ数によって設定されております。

有寿命部品を推奨交換周期ごとに交換する場合には、保守契約締結の有無や無償保証期間内か否かに関わらず、部品は有償とさせていただきますのでご了承ください（一部の機種につきましては、有寿命部品代金を含んだ保守メニューもご用意しております）。

お客さまにご使用いただいている MultiWriter の有寿命部品とその推奨交換周期につきましては、NEC Web サイト（<http://www.nec.co.jp/products/laser/>）をご参照いただくか、MultiWriter をお買い求めの販売店、もしくは保守サービス会社までお問い合わせください。

※ 「有償交換部品」「定期交換部品」という場合もあります。

消耗品は NEC 純正品のご使用をおすすめします

NEC 純正の消耗品（トナーカートリッジなど）は、MultiWriter の動作・印刷品質がもっとも安定するように、MultiWriter 専用に開発・設計された商品です。

プリンタの性能を維持し、安定・快適な出力環境を得るため、NEC 純正の消耗品をご使用されることをおすすめいたします。

NEC 純正消耗品以外の消耗品^{*1}を使用した場合、印刷品質低下等の不具合やプリンタ本体の故障が発生した事例があります。^{*2}

以下の場合、無償保証期間内や保守契約期間内であっても保証書・保守契約・PrinterSupportPack に基づく修理はいたしません。別途有償修理対応となります。ご使用にあたってはご留意願います。

- ・ NEC 純正消耗品以外の消耗品の使用が原因で、プリンタ本体に不具合や故障が発生した場合。
- ・ NEC 純正消耗品以外の消耗品の使用が原因で、印刷品質低下等の不具合が発生した場合。

^{*1}: NEC 純正消耗品以外の消耗品にはトナーを再充填した再生消耗品も含まれます。

^{*2}: すべての NEC 純正消耗品以外の消耗品で故障が起こるわけではありません。

本装置の有寿命部品及び消耗品の一覧を次のページに示します。

本装置の有寿命部品（有償交換部品、定期交換部品）

プリンタ型番	品名	推奨交換周期 ^{※1}	個数 ^{※2}	適用
PR-L9560C PR-L9160C	100K キット (定着ユニット／二次転写ユニット／ベルトユニット／現像器キット (ブラック)／用紙搬送ロール (トレイ用)／用紙搬送ロール (手差しトレイ用))	約 100000 ページ または通電時間 5000 時間の どちらか早い方	1	プリンタ本体
PR-L9560C PR-L9160C	カラー現像器キット (イエロー、マゼンタ、シアン)	約 100000 ページ	1	プリンタ本体
PR-L9560C	トリクルユニット	約 600000 ページ	1	プリンタ本体
PR-L9560C PR-L9160C	用紙搬送ロールキット (オプショントレイ用)	約 100000 ページ	1	トレイモジュール

※1: 「推奨交換周期」は、A4 用紙の普通紙を連続片面印刷した場合の目安です。実際にプリント可能なページ数は、使用する用紙サイズ、種類、印刷環境などの印刷条件や、プリンター電源投入頻度、通電時間などにより大きく異なる場合があります。

※2: 「個数」欄に記載された数字は、1 回あたりに交換する個数を表します。

- 品名は変更される場合がありますので、NEC Web サイト（<http://www.nec.co.jp/products/laser/>）をご参照いただくか、MultiWriter をお買い求めの販売店、もしくは保守サービス会社までお問い合わせください。
- 有寿命部品の参考価格につきましては、NEC Web サイト（<http://www.nec.co.jp/products/laser/>）をご参照ください。また、実際の部品価格はその都度、MultiWriter をお買い求めの販売店、もしくは保守サービス会社まで直接お問い合わせください。
- 有寿命部品の交換は保守サービス会社にて実施いたします。安全上の理由等により、お客様ご自身による交換は行わないでください。
- 有寿命部品は保守契約を締結されている場合であっても有償になります（一部の機種につきましては、有寿命部品代金を含んだ保守メニューもご用意しております）。

本装置の消耗品

プリンタ型番	品名	プリント可能枚数	個数 ※4	消耗品型番
PR-L9560C PR-L9160C	ドラムカートリッジ ブラック (K)	約 24000 ページ ※2	1	PR-L9100C-31
	ドラムカートリッジ カラー (CMY) ※ドラムカートリッジカラー (CMY) はカラー各色共通で、シアン (C)、マゼンタ (M)、イエロー (Y) すべてのドラムカートリッジを交換する場合は 3 本必要です。	約 24000 ページ ※2	1	PR-L9100C-35
	トナー回収ボトル	約 24000 ページ ※3	1	PR-L9100C-33
PR-L9560C	トナーカートリッジ ブラック (K) 標準容量品	約 7000 ページ ※1	1	PR-L9560C-14
	トナーカートリッジ シアン (C) 標準容量品	約 6000 ページ ※1	1	PR-L9560C-13
	トナーカートリッジ マゼンタ (M) 標準容量品	約 6000 ページ ※1	1	PR-L9560C-12
	トナーカートリッジ イエロー (Y) 標準容量品	約 6000 ページ ※1	1	PR-L9560C-11
	トナーカートリッジ ブラック (K) 大容量品	約 15000 ページ ※1	1	PR-L9560C-19
	トナーカートリッジ シアン (C) 大容量品	約 10000 ページ ※1	1	PR-L9560C-18
	トナーカートリッジ マゼンタ (M) 大容量品	約 10000 ページ ※1	1	PR-L9560C-17
	トナーカートリッジ イエロー (Y) 大容量品	約 10000 ページ ※1	1	PR-L9560C-16
PR-L9160C	トナーカートリッジ ブラック (K) 標準容量品	約 6000 ページ ※1	1	PR-L9160C-14
	トナーカートリッジ シアン (C) 標準容量品	約 5000 ページ ※1	1	PR-L9160C-13
	トナーカートリッジ マゼンタ (M) 標準容量品	約 5000 ページ ※1	1	PR-L9160C-12
	トナーカートリッジ イエロー (Y) 標準容量品	約 5000 ページ ※1	1	PR-L9160C-11
	トナーカートリッジ ブラック (K) 大容量品	約 10000 ページ ※1	1	PR-L9160C-19
	トナーカートリッジ シアン (C) 大容量品	約 9000 ページ ※1	1	PR-L9160C-18
	トナーカートリッジ マゼンタ (M) 大容量品	約 9000 ページ ※1	1	PR-L9160C-17
	トナーカートリッジ イエロー (Y) 大容量品	約 9000 ページ ※1	1	PR-L9160C-16

※1 : JIS X 6931 (ISO/IEC 19752) に基づく公表値です。実際のプリント可能ページ数は、印刷内容や用紙サイズ、用紙の種類、使用環境などや、本体の電源 ON / OFF に伴う初期化動作や、プリント品質保持のための調整動作などにより変動し、公表値と大きく異なることがあります。

※2 : プリント可能ページ数は、A4□、片面プリント、像密度 10% (温度 23℃、湿度 55%)、1 度にプリントする枚数を平均 3 枚として連続プリントした使用条件における参考値です。実際のプリント可能ページ数は、用紙の種類、用紙送り方向、給紙・排紙トレイの設定、本体の電源 ON / OFF に伴う初期化動作、プリント品質維持のための調整動作などの使用環境により変動し、参考値の半分以下になることがあります。

※3 : プリント可能ページ数は、A4□サイズ、片面プリント、像密度各色 10% (温度 23℃、湿度 55%)、カラー・モノクロ比率 5 : 5 で連続プリントしたときの参考値です。実際の交換サイクルはプリント条件、出力内容、用紙サイズ、種類や環境によって異なります。

※4 : 「個数」欄に記載された数字は、1 台あたりに使用されている個数を表します。

●本機購入時に同梱されているトナーカートリッジのプリント可能ページ数は次のとおりです。

- ・Color MultiWriter 9560C
ブラック約 7000 ページ
イエロー、マゼンタ、シアン約 6000 ページ
- ・Color MultiWriter 9160C
ブラック約 6000 ページ
イエロー、マゼンタ、シアン約 5000 ページ

保守サービスについて

保守サービスは純正部品を使用することはもちろん、技術力においてもご安心してご利用いただける、弊社指定の保守サービス会社をご利用ください。保守サービスには次のような種類があります。

- ・契約保守
年間一定料金で契約を結び、サービス担当者を派遣するシステムです。
- ・出張修理
サービス担当者がお客様のところに伺い、修理をするシステムです。料金は修理の程度、内容に応じて異なります。

保守サービスの種類

種類	概要	修理料金		お支払方法	受付窓口 *1
		保証 期間内	保証 期間外		
契約保守	ご契約いただきますと、修理のご依頼に対しサービス担当者を派遣し、修理いたします。*2（原則として派遣日にその場で修理いたしますが、故障の程度・内容により、お引取りして修理する場合もありますのでご了承ください。）保守料は、システム構成に応じた一定料金を前払いしていただくため一部有償部品を除き、修理完了時にその都度お支払いいただく必要はありません。保守費用の予算化が可能になります。	機器構成、契約期間に応じた一定料金		契約期間に応じて一括払い	NEC フィールディング (株)
スポット保守 (出張修理)	修理のご依頼に対してサービス担当者を随時派遣し、修理いたします。*2（原則として派遣日にその場で修理いたしますが、故障の程度・内容により、お引取りして修理する場合もありますのでご了承ください。）ご契約は不要です。	無料 *3	修理料 + 出張料	そのつど 清算	

*1 受付窓口の所在地、連絡先などはインターネットのWebページ<https://www.fielding.co.jp/per/index.html>をご覧ください。くか、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にお問い合わせください。

*2 保守サービス会社は保守サービス実施にあたり、マイナンバー（個人番号）は取り扱いません。装置内に印字済み、若しくは印字途中の用紙や記憶領域等が存在し、マイナンバー（個人番号）を含む情報が残っている可能性がある場合は引取修理を承れませんので、必ずお客様立会いの下に修理を行うこととさせていただきます。

*3 本製品は「出張修理対象品」ですので、保証期間内のお出張修理は無料です。出張修理の対象となっていない製品は出張料のみ有料となります。

保守サービスの最新情報については、インターネットのWebページ<https://jpn.nec.com/printer/laser/support/>をご覧ください。

プリンターの耐久性について

本機の耐久性は、Color MultiWriter 9560C は印刷枚数 90 万枚、Color MultiWriter 9160C は印刷枚数 60 万枚、または使用年数 5 年のいずれか早い方です。



- 印刷枚数は、A4□の普通紙を片面連続印刷した場合の目安です。使用する用紙の種類、印刷環境などの印刷条件やプリンターの電源投入頻度などにより変動します。本機は、有寿命部品（定期交換部品、有償）の交換が必要です。なお、商品の性能維持のためには定期交換部品の交換が必要です。交換については、お買い求めの販売店またはサービス窓口にご相談ください。